

Mario Marengo

マリオ・マレンゴ/バローロ



△古いものでは80年を超える樹齢の樹も。

ブルナーテ最良の区画 価格以上に贅沢なワイン

誰もが羨む最高の畑

1899年から葡萄栽培を始めたマレンゴ家。カンティーナはバローロ村のはずれに位置し、所有している6haの畑はほぼ全てがバローロ地区。そして、マリオ・マレンゴと言えば良心的な価格も魅力的。これだけ高騰しているバローロの畑ですが、彼らは100年以上も前から畑を所有しているため、後から畑を購入した造り手に比べて価格を抑えられるんです。しかも1.2haがラ・モッタ最上の畑「ブルナーテ」の最高の区画(真ん中の中腹より少し上)。更にバローロ村を代表する畑「ブリッコ・デッレ・ヴィオーレ」に1haを所有しています。しかも細かい区画に分かれておらず、2ヶ所の大きな区画。新しい造り手では叶わない条件の揃った、超贅沢な造り手なんです！特にブルナーテの区画は、エリオ・アルターレさえも惚れ込むほど。かつては当主マルコの父と契約を交わし、毎年ある一定量のブルナーテ産葡萄を購入し醸造していたほど。

気候変化にもブレない古樹

マリオは周囲の造り手の間で「毎日畑にいる人」として有名。彼の信条は「畑でワインを造る」。極少量のSO2等の添加物しか使わない彼等にとって、葡萄のポテンシャル以上のワインは造れないということ。畑には雑草が茂っていますが、樹齢の高い樹には全く問題ないんです。長年の畑環境への適応力や、地中15m以上も長く伸びた根のおかげで、雑草に養分や水分を取られてしまうこともなければ、気候変動により暑く乾燥した年でも、深い地下より水分を吸収出来るため、影響を受けにくいのです。

新入港 2018 ヴィンテージ

たくさんの造り手が口を揃えて手強いヴィンテージだったと語る2018年。だからこそワイン生産者の粘り強さとスキル、強いては畑のポテンシャルが試されているとも言えます。2014年の雨、2015年の暑さ、2016年の典型的な気候、2017年の干ばつに見舞われやすいコンディション。そして今回入港の2018年は湿度の高い気候から高温へと続くイレギュラーな気候でした。春の2週間も続いた雨による病気等の被害は大きく、結果収量が落ちる原因となってしまいました。その後は10月まで続く生育期の後半部分が伝統的な理想に近い気候条件であったという事により、最終的には非常にバランスが取れたワインになりました。

商品記号	ワイン	VIN	色	容量	参考上代	メモ	在庫数
A6840	Barolo "Bricco delle Viole" バローロ・ブリッコ・デッレ・ヴィオーレ	2017	赤	750	9,800	93P:JS, 92P:WS	49本
A7776	Barolo "Bricco delle Viole" バローロ・ブリッコ・デッレ・ヴィオーレ	2018	赤	750	9,800	93P:Raffaele	120本
A7777	Barolo "Brunate" バローロ・ブルナーテ	2018	赤	750	13,000	93P:Raffaele	140本
A7780	Dolcetto d'Alba ドルチェット・ダルバ	2021	赤	750	3,000	1997,2000年植樹	120本

ご注文は受注専用メールまでお願いします: t-order@terravert.co.jp

貴店名	担当者様	電話番号
帳合酒販店		希望納品日 月 日



最新情報は「メルマガ」で！

- ・登録はQRコードで簡単
- ・限定品、最新入港案内
- ・読者限定「特別条件」
- ・試飲会、セミナー優先案内

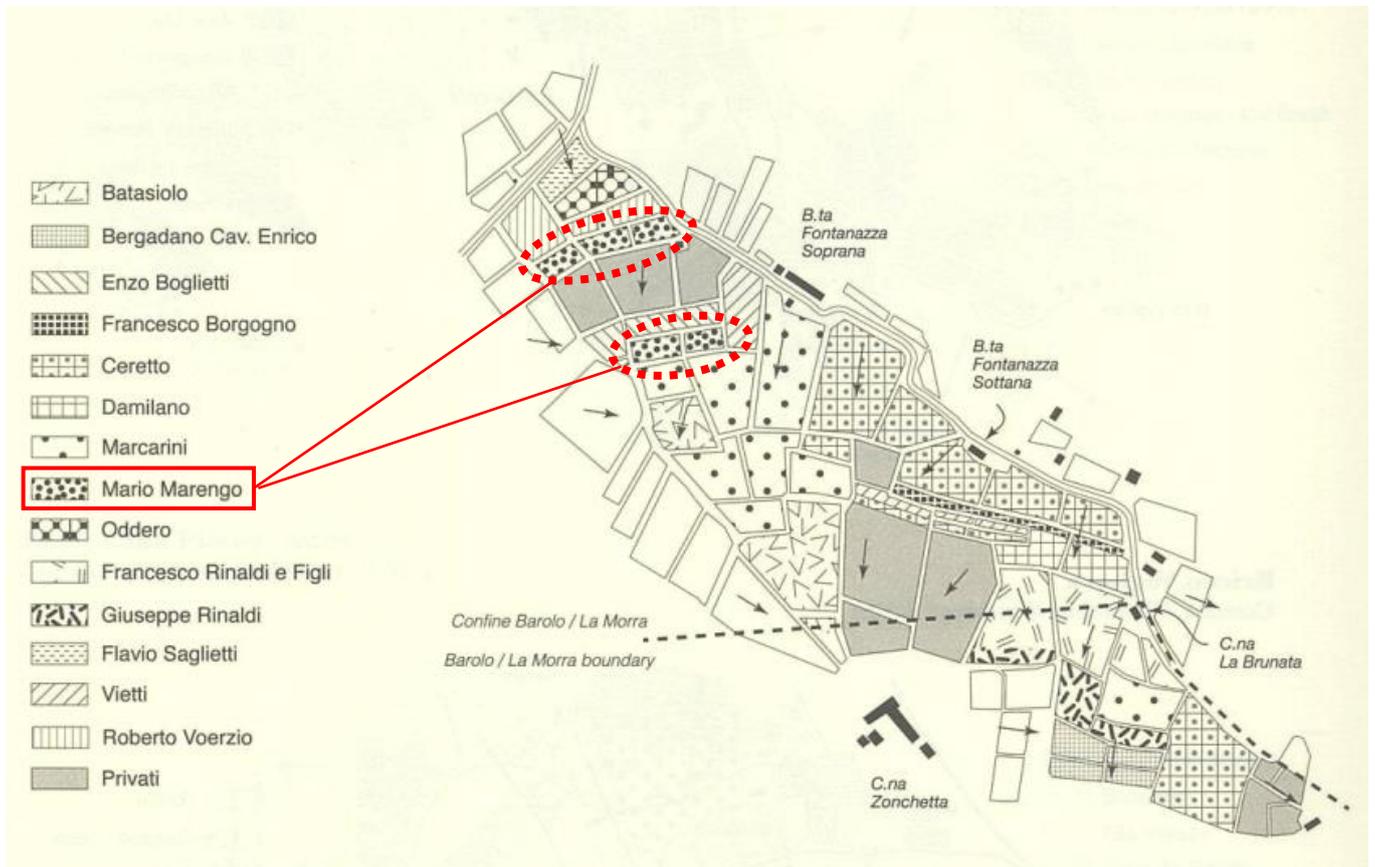


造り手の今をお届けします！
FACEBOOK & INSTAGRAM

名立たる造り手がひしめき合う銘醸地

BRUNATE

ブルナーテ



銘醸地のさらに最良区

マレンゴの所有するブルナーテは2ヶ所。1つはマルカリーニの畑上部の急斜面の区画に樹齢80年を超える葡萄樹の畑。もう1つは南南東を向くブルナーテの中でもコロッセオ状の中央部。ここは日中最も暖かく、一方で風を一番強く受ける位置でもあるため、葡萄樹は寒暖差にさらされることでゆっくり成熟する。土壌は伝統的な石灰質土壌。ストラクチャーははっきりとつつも、優雅でしなやか。余韻も非常に長い。熟成にも向く畑。

Barolo "Brunate" 2018

参考上代: **13,000** 円

バローロ・ブルナーテ



1947、1957年に植樹された平均樹齢70年の区画。マルゴッタでクローンを保持している。土壌は典型的な石灰岩を多く含む泥灰土。熟成はフレンチ・バリックで24ヶ月。新樽は全体の15%以下に抑える。ブルナーテの中でも最も優れた区画を持つのがマレンゴと言われる。日当たりが非常によく毎年一番初めに収穫が始まるのがこの畑。

【テイスティング】

熟した果実をうかがわせるオレンジがかった深みのある色調と、ゆったり落ち着きのある香り。いつものブルナーテの迫力やはっきりとした肉付きではなく、2018はしっとりとした質感に心地良いタンニン。まさにエレガント！余韻も申し分なく、非常に美しくまとまったキュヴェ。

ご注文は受注専用メールまでお願いします: t-order@terravert.co.jp

貴店名

担当者様

電話番号

帳合酒販店

希望納品日

月

日



最新情報は「メルマガ」で！

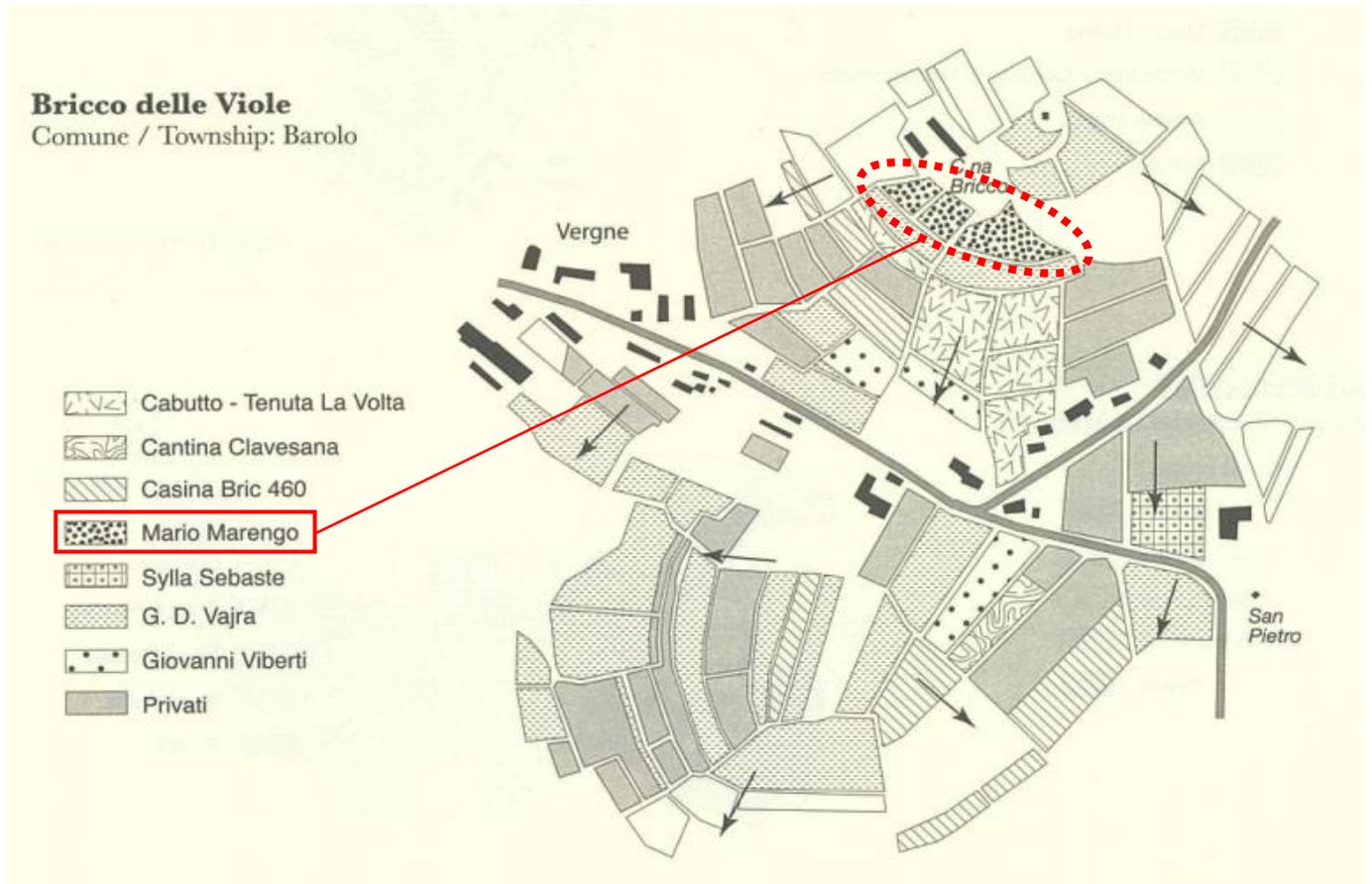
- ・登録はQRコードで簡単
- ・読者限定「特別条件」
- ・限定品、最新入港案内
- ・試飲会、セミナー優先案内



造り手の今をお届けします！

FACEBOOK & INSTAGRAM

“VIOLE” (スミレ) のような繊細な美しい香としなやかなラインが特徴
BRICCO DELLE VIOLE
 ブリッコ・デッレ・ヴィオーレ



標高 400m以上の冷涼区画

バローロ村の畑の中で最も標高が高く、繊細なワインが産まるとされるエリア、ブリッコ・デッレ・ヴィオーレ。この畑の第一人者 G.D ヴァイラは、まんべんなく色々な場所に畑を所有しているのでバランス感が出てくるが、マレンゴの区画は1ヶ所に1haを所有。このエリア特有のスミレのような繊細で美しい香と、強さではなく芯のあるエレガントな果実と骨格。より標高の高い彼らの区画はその個性が一番強く表現される。

Barolo "Bricco delle Viole" 2018

参考上代: **9,800** 円

バローロ・ブリッコ・デッレ・ヴィオーレ



標高 410m の上部に位置する僅か 0.38ha のブリッコ・ヴィオーレ。1955 年に植樹された区画で樹齢は約 65 年。素晴らしい状態。発酵は野性酵母のみでマセラシオンは 10 日間。バリック(15%新樽)に移し変え、セラーの温度を上げてマロラクティック発酵を促し、24 ヶ月熟成。砂が多い畑なので花や果実の香が強く、芳香に優れ女性的。

【テイスティング】

きれいにすっと馴染むような酒質。ネッピオーらしい求心力の強さではなく、穏やかに優しく寄り添ってくれるようなバローロ。単体でも飲み進む程にタンニンが細やかで、繊細な甘みが心地良く感じられる。高樹齢による安定感と丁寧さが伝わってくる味わい。

ご注文は受注専用メールまでお願いします: t-order@terravert.co.jp

貴店名	担当者様	電話番号
帳合酒販店		希望納品日 月 日



最新情報は「メルマガ」で!

- ・登録はQRコードで簡単
- ・限定品、最新入港案内
- ・読者限定「特別条件」
- ・試飲会、セミナー優先案内



造り手の今をお届けします!
FACEBOOK & INSTAGRAM